

令和元年10月定例教育委員会会議録

- 1. 開催日時 令和元年10月31日（木） 9時～11時45分
- 2. 開催場所 西大路公民館 会議室2
- 3. 出席委員 今宿綾子教育長、高橋政宏教育長職務代理者
谷 信代委員、西村吉弘委員、吉澤正義委員
- 4. 出席事務局員 教 育 次 長：望主 昭久
 学校 教育 課：参事 山添 美実 参事 柴田 和英
 生涯 学習 課：課長 吉澤 増穂 参事 加納 治夫
 図 書 館：館長 高浪 郁子
 子ども支援課：課長 宇田 達夫

今宿 教育長	<p>ただいまから日野町教育委員会定例会を開会します。</p> <p style="text-align: center;">（あいさつ）</p>
今宿 教育長	<p>それでは、本日の定例会を議事日程に基づき進行させていただきます。</p> <p>日程3の前回委員会の議事録の報告については、お手元に配付の議事録のとおりであり、議員各位においてご覧いただき、異なるところがあれば事務局までご連絡をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">~~~~~</p> <p>日程4 経過報告</p>
今宿 教育長	<p>続きまして、日程4の経過報告に移ります。学校教育課から順次報告をお願いします。</p>
各課長	<p>（各課から報告）</p>
今宿教育長	<p>ただいま経過報告させていただきました。ご質問等ございましたら、お願いします。</p>
谷 委員	<p>「ホッとスペースのびのび」というのは大変興味深いというか、前回の時には、まだそんなにお知らせ等はしてないみたいな感じで、10月から始められるというふうな感じでお聞きしていたと思うのですが、まだどなたもいらっしゃらなかったのですか。</p>

高浪 館長	<p>そうですね、担当職員がポツンと、あとボランティアで来られた保護者の方と、ゲームを用意してあるから、その練習をしておこうかという感じで、待機している状態でした。</p>
谷 委員	<p>チラシをつくったということは、もう町民に広くお知らせしてということですね。図書館なり役場に置いて知らせていくという形ですか。</p>
高浪 館長	<p>関係のある方にお知らせしていただけたかなと思っていたのですが、福祉保健の担当に聞いたらチラシをつくってくれまして、図書館等で配布していいということでしたので、どういうものか、また後ろに、この事業がどういう目的で行われるのかということが書いてありますので、こちらを図書館に今のところお配りしております。ですので、もし関心がおありの方は来ていただけるのかなと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p>
谷 委員	<p>何人か学校に行きにくいとか、ちょっと行ったり行かなかったり、来れてないという、不登校になってしまったような段階のお子さんが中学生で身近にいらっしゃいますので、またお話ししてみたいと思います。ありがとうございます。</p>
今宿 教育長	<p>ほかにございませんでしょうか。</p>
西村 委員	<p>感想・意見が3点、それから質問と意見が1点ということで、発言させていただきたいと思います。</p> <p>1点目は、10月10日に最高裁の決定が出ましたですね。宮城県石巻市の大川小学校、津波の犠牲者、その方々に対する損害賠償訴訟で、市と県の上告が棄却されました。この決定は、学校側に非常に高度な安全管理義務があるということを確認したということになると思います。子どもの命を守るためには、事前の備えを万全に、本当に万全を期すということが必要だということですね。</p> <p>私も、以前に日野小学校へお邪魔しまして、危機管理の状態を先生に教えていただいたのです。訓練もやっているということで、備えはしていただいているなと思ったのですが、やはりこうして最高裁の決定というものが出た以上は、今まで以上にきめ細かな危機管理、自然災害だけでなく、もっと広い意味の危機管理が要求されていると思います。</p>

学校だけ、あるいは教育委員会だけでというのも、なかなか大変だと思いますので、やはり住民の方々の知恵も借りながら、ちゃんとしたものを構築していかなければいけないなと私は考えます。これが第1点目の感想です。

2点目は、10月11日に近畿市町村の教育委員会研修大会に寄せていただきました。最初に早稲田大学の藤井教授の講演を聞かせていただきました。「新学習指導要領のめざすもの」というタイトルで、非常に丁寧な説明をしていただきました。私の感想ですけれども、先生が、20世紀は「産業基盤社会」で、経済成長が目的で「情報処理能力の育成」が学校教育の役割だった。そして「学習指導の隠された狙い」は何であったかということで、本音のところをまとめて5項目おっしゃいました。

そして「21世紀、知識基盤社会とは」ということで、縷々説明をいただいたのですけれども、「隠された狙い」は何なのかということですね。特に先生はおっしゃいませんでしたが、いま日本はグローバル経済の中で、中国などに先手を越されて、技術革新をはじめとする様々な面で負けているわけですね。そういう意味での焦りと言いますか、経済界を中心とした焦りがいろいろな面で表れているから、教育の面で言えば、やはり競争、それから選別と言いますか、優れた頭脳を発掘して世界で活躍できる「人材」を育成しよう、そういったところがぐっと前に出てきているのではないかと思います。

特に、文部科学大臣の「身の丈」という話があったのですが、それもまさにこれではないかと思いますし、これらを考えますと、我々としては本当に足元を見つめていろいろやっていかないとあかん。だから、学習指導要領に決められたことはやっていかなければならないわけでありましてけれども、同時にもうひとつの目で足元を見直していかないとあかんなど、私は感じました。

特に学習指導要領が方向性を示す部分は、時代的な要請と言いますか、「不易と流行」の部分で言ったら「流行」の部分になるのかもわかりませんが、経済界の強い要望というものができて、特に大学、高等教育が現在の改革議論の中心になっているのですが、それがやがて中学校・小学校へ及んで来ると言います。私が思いますのは、よりよい教育のために、現場の教職員さんの本音の部分を学習指導要領に盛り込んでもらって、国民的な合意のもとで、みんなが納得してやっていこうというようになっていくべきが本来の姿だと思います。残念ながら、そのようになっているのかどうかということでは、私は疑問を持っており

ますし、目指すところの「人格の完成」という教育の目的ですね。本当に原点に帰って考えていかないといけないなど、強く感じました。ある意味では「急がば回れ」、今の情勢に振り回されないで、もう一度足元を見つめていく必要があるかなど、これが2つ目の私の感想です。

3つ目は、同じ研修大会で竜王町さんから、働き方改革についてお話をいただきました。非常に丁寧な、時間が短い中で一生懸命、教育長さんと武久さんから、現状報告をしていただきました。私はそのご努力に敬意を表するのですが、大変だなと思いました。やはり国の委託事業を受けて学校支援マネージャーを活用しながら、いろいろ進めていただいているのですが、おっしゃっていたように、基本的な部分ではなかなか成果が、目に見えないですね。そうおっしゃっていたのですね。当然だと思えるのです。教員を増やさずに、もう一方では業務量もどんどん増やしていく、そういう中で根本的な解決を図れといっても、本来、無理な話ということにもなります。

しかし、そうした中でもいろいろやっただけのことには非常に敬意を表しつつも、基本的な「先生を増やす」ということ、「業務量を何とか減らす」ということに焦点を合わせた改革でないと、働き方改革にはならないと私は思います。

特に私は思うのです。国が今、教員の変形労働時間制導入の提案をされていますね。これから国会で審議が始まると思うのですが、私は先生方も人間でございますので、一日8時間労働、8時間の睡眠、8時間の生活時間、一日の基本はこうだということは動かしてはならないというのが私の意見なんです。そういう意味では変形労働時間制で、1年を単位として導入するのは、人間であるという原点を忘れた提案であると思いますので、こういうことは現場から声をあげて、「こんなものはあかん」というふうに言ってほしいなと私は思っております。これが3番目の意見でございます。

4番目は、地教行法というのがありますね。地方教育行政の組織及び運営に関する法律の26条に、ここに書かれているのは、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」という条文があるのですが、これを日野町では実施されてないということですね。

私は一昨年、岡山県の和気町へ見学に行かせていただきました時に、非常に簡潔な形で、22ページだったと思うのですが、非常にわかりやすい報告書をつくっておられたのですね。これが26条による報告という

ことになっております。当然、議会にかけて承認を受けて、町民の皆さんにも公表されているということですね。

日野は、なぜできないのかなと思っているのですね。よく見てみると全部、事務局にあるデータをスッと項目別に揃えて、整理されただけのものなんですよ、極端に言ったら。それだったら日野町でもできるのではないか、やってほしいなと思うのです。

ただ問題点があるのですね。「点検及び評価」の「評価」について、「外部評価」も入れるかどうかという点です。滋賀県は内部で評価し、かつ外部の委員4名の方を委嘱してちゃんとしたものをつくっておられるわけですね。だから報告書のページも62ページです。近江八幡市は同じように外部の評価も入れておられるみたいで、ここはまた膨大なもので、124ページの報告書です。しかし、大津市はまた違うのです。外部の委員は入れておられないのではないかな、内部の評価だけでやっておられるのではないかなと思われるのですが、40ページ弱の報告書になっています。

私、報告書をつくってほしい理由は、今日あとで論議する教育振興基本計画、5か年間の計画ということでやるのですが、その計画を実施していく中で、ここまでやったなということが、報告をすることによって、年次的にわかる形になるわけですね。計画の進展状況がチェックでき、人が替わっても事業が円滑に継承できるという意味で意義があると考えます。

2つ目は、もうひとつ大事なこととして、住民への周知という部分があると思うのです。議会に報告したら住民の代表の方に言ったということになるのでしょうかけれども、やはり一般町民の方にもアクセスできるようにすれば、こういうことを教育委員会ではやっているんだなということを知っていただけるわけですから教育を支える大きな力になると思います。

そしてもう1つ、この間の第6次総合計画の策定にあたっての住民意識調査の結果報告とも関係するのです。あれを見ていると、一般的な教育環境はもうひとつよい評価ではなかったのですが、教育環境の整備と地域に根差した学校づくりが根づいているかどうかという評価については教育委員会のやっている活動、あるいは学校が個々に取り組んでいる活動が住民のみなさんに伝わっていれば、もっとその辺の定着度、いろいろ進めていこうとしているところをどこまで実施しているかという点では、もっと評価が上がるのではないかと思うのです。そういう意味ではこういった教育行政の報告をつくることに意義があると思

<p>高橋委員</p>	<p>いますので、ひとつご検討いただきたいなと思います。これが4点目です。</p> <p>時間を取りまして申し訳ありませんでしたが、よろしく願います。</p> <p>おはようございます。私も1点だけお願い事がございます。以前にもお願いをしたことございますが、私の地域には桜谷こども園がございます。地域の方々も、私がこれから申し上げる考えと同じような考えをお持ちです。</p> <p>先般の大雨で、夕方見に行きますと、私、下水道の役もしております、堤防のところへ行きますと、佐久良川の頭首工が全開してあるにもかかわらず、夕方の5時くらいだったのですけれども、7割くらいの高さまで濁流が流れておりまして、もうちょっとしたら堤防を越して字は水没してしまうような印象を持ちました。実はこども園のところの前に川がございまして。大雨の時は頭首工が全部全開になって、大丈夫だというような判断があるかと思えますけれども、先般の関東・東北の大雨、台風を見ていると、予想しない水害が起こっておりますね。</p> <p>ということで、私が何を言いたいかと申し上げますと、以前から申し上げておりますが、こども園に通う子どもさんは年々増えていくと思われまして、現状では水害と言いますか、どこに避難するかといえば、旧の公民館の体育館の中にちょっとした2階みたいなものがあるのですね。しかしながら、そこに皆が行くことはなかなか難しいだろうということをおっしゃっていますし、そういうことがあってはいけないわけですが、ひとつこども園の目の前には1級河川でありますし、佐久良川が流れております。頭首工で調整はされているといいましても、先般のあれぐらいの雨でさえ、それくらいになっておりますので、それが日中とか思わぬ時に、子どもたちをどこかに避難させる場合、現状ではなかなか適切なところがないなというのが、地域住民の声でもあります。</p> <p>これは、以前にもお話をさせていただきましたけれど、また県への働き掛けもしていただきながら、あってはならんことですが、そういうことを想定した危機管理につきまして、ぜひ考えていただいて、方法を編み出してほしいと思っています。</p> <p>我々の地域の中では、ヘリコプターを出して、そして子どもたちを安全なところへ連れて行ったりとか、そんな話もありますけれども、なかなか話だけであって、現実的には難しいだろうということもありますし、西の公民館の中で、もしそういうことをするのであれば、あの体育</p>
-------------	---

	<p>館の改修と言いますか、そういうものにしていただけると、安心して子どもさんを預けていただけることができていると思っています。やたらに煽り立てるわけではございませんけれども、ひとつよろしく願いいたします。</p>
<p>今宿 教育長</p>	<p>ありがとうございます。 それでは、事務局でお答えいただけることがあったらお願いします。私の方でもまとめて回答させていただきます。</p>
<p>柴田 参事</p>	<p>今、西村委員さんから4点のご意見をいただきました。「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の第26条の「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」に関しましてご意見をいただきました。</p> <p>委員ご指摘のとおり、現在、日野町の場合はこの条項にあります「報告書を作成して、執行状況の結果を公表する」というところまではできておりませんが、教育委員会事務局の執行状況の結果をまとめて報告をするという、この条項の趣旨に関しては必要であるというふうにも認識をしております。</p> <p>そこで具体的には、先ほども言うていただきましたように、第3期の日野町の教育振興基本計画の策定中でございますので、その中で第2期の計画の成果と課題をまとめるうえで、教育委員会の事務の管理および執行状況の評価点検をすることにもなりますので、それとあわせて、教育行政報告書を策定してまいりたいと考えております。</p> <p>評価の方法についてはどうかということもあるのですが、一次評価・二次評価という部分もありますが、まだまだ具体案を持っているわけではございませんけれども、報告書をまとめる段階におきまして、検討を進めて、また教育委員会にも提案させてもらいながら、ご意見をいただきながら進めていきたいと思っております。</p>
<p>今宿 教育長</p>	<p>ほかに事務局でお答えいただくことはありませんか。</p>
<p>宇田 課長</p>	<p>子ども園につきましては、前に佐久良川が流れているということで、佐久良川の水位が上がった場合に、法光寺川の方が逆流して水が来るのかなという心配もあるところでございます。</p> <p>日野町のハザードマップでいうと、あの辺りは確か最大50cmの網がかかっていたかなと思っております。旧の講堂がちょうどそのくらいの</p>

<p>今宿 教育長</p>	<p>高さかなということもあるのですけれども、なかなか耐震的にも不安な建物でもございますので、今後、防災担当課とも相談しながら、子どもたちの安全について検討を進めていきたいと思っております。</p> <p>ありがとうございます。今ほど西村委員、高橋委員からご指摘いただいた中で、まず、大川小学校の判決につきましては、非常に大きな重みを持って受け止めているところでございます。想定しなかったとか、百年に一度の雨量であるとか、本当にこのような表現が多くなってきています。子どもの命を守るために、より一層の安全管理意識を持たなければならない、マニュアルや想定にこだわらないということを、校長会でも何度も言わせていただいているところであります。</p> <p>具体的には、桜谷こども園において、それこそ大雨で想定しないような状況が起こった時に、どのようにして子どもの安全を守れるのかということでもあります。水位が上がったら高い所へ逃げるとというのが、今の現状では十分ではないと思いますので、学校・園だけでなく、教育委員会、行政、町当局、住民の皆さんと一緒に、起こり得ないことも起こるんだという観点で、しっかり議論していく必要があると思います。</p> <p>学校におきましては、火事・地震・雷・大雨・不審者などを想定して安全指導や避難訓練等を行ってきました。しかし、ここ近年は、例えば通学途中でブロックが倒れてきた時には、また突風や雷の時にはどう身を守るのかなど、具体的な話の中で指導し、その都度状況から自分の命を守るという思いを持っていなければならないなと思っております。</p> <p>また来たるべき時代を見据え、教育改革が示されています。中でも、ICT教育、英語教育、日常会話とともにプレゼンテーションなどで表現することができるようになど、非常に高度な内容が小学校に入ってきています。しかもそれが指導員（教員）の体制が整っていない中に出てきています。英語は専科になるとありますが、体制が整うのは何年も先です。また、これらの原資は、現在それぞれの学校に配置している、少人数加配教員をかえて充てるというようなからくりがあるようでありまして、本当に見通しを持った教育政策がされているのかと、非常に疑問なところがあります。そのことについても教育長会において現場の状況を文科省の担当の方に意見を申し上げているところであります。</p> <p>働き方改革にしても、おっしゃるとおり、教員を増やした中で業務量を減らすことが一番なんですけれども、なかなかそちらへ行かないで、もう意識論、意識改革ばかり論じてしまっているのです、体制整備・環境整備に取り組まなければならないと改めて考えています。例えば留守番</p>
---------------	---

	<p>電話を設置したり、パソコンを開いた時に退出勤を打刻するなどしています。町としてはできる限りの環境整備に努めていかなければならないと思っています。</p> <p>それから、変形労働制については、地方公務員法を変えていかなければならないので、今国会で議論されています。恐らくそれは通っていくと思いますが、以前、教員が勤務していた時には週6日制で、土曜日がありました。学期の初めとか終わりとか、非常に忙しかったり、子どもたちへの対応で遅くまで残ったりとか、それはもう教師に課せられたことであると受けとめてきたわけであります。一方、夏休みとかに年休のまとめ取りなどで、調整していたわけであります。週5日制になり、夏休みもすべて出勤日として、研修なども長期休学中にいっぱい入れてきたというようなことがあります。</p> <p>現在はさらにいろいろな課題が学校に加わっています。さらにビジョンを持って、情報を集めながら各課や、地域・家庭と連携して取り組んでいく必要があると思っています。</p> <p>評価・点検についてですが、それぞれの学校におきましては内部評価といって教職員が自分たちの教育活動について点検することは以前から行ってきました。そのことについて保護者や地域の方にご意見をいただく外部評価の観点を加えて、各校では教育委員会に報告してもらっています。</p> <p>それをまた教育委員さんに見ていただいているのですが、さらに教育委員会の施策・事業についてまとめ、教育行政報告をつくっていくことが必要だなと思っています。</p> <p>特に第3期基本計画を立てるにあって、第2期の成果と課題についてまとめていますので、それをさらに数値的に整理して、町の教育施策をまとめることができると思いますので、時期になりましたら、見ていただきたいと思います。</p> <p>そして、それをさらに外部の人に点検していただく必要がありますので、それについては評価員さんをお願いしたりとか、どうするかということを考え、今後の課題としていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p> <p>西村 委員 各項目についてお答えいただきました。それぞれについて取り組みをよろしくをお願いします。</p> <p>今宿 教育長 ありがとうございます。谷委員さん。</p>
--	--

<p>谷 委員</p>	<p>時間を取ってしまって申し訳ないのですが、感想というか、言わせてもらっていいですか。</p> <p>先日、中学3年生の家庭科の授業の一環で、保育実習で日野幼稚園と第2わらべ保育園にお邪魔してきたのですね。これは毎年行われているようで、中学校から徒歩で行ける場所なので、あとあおぞら園か、3か所ぐらいお世話になっているのでしょうか。</p> <p>2つの園にお邪魔した時はお天気もよくて、お外遊びなどにもすごくよかったですけれども、往復時間をだいたい30分と見ると、園児たちと関わる時間が1時間もないと思うのですけれども、日野幼稚園は3・4・5歳児がいるところなので、最初は中学生たちも園児たちも初対面で様子を伺いながら遊んでいたのですけれども、時間が経つうちに打ち解けてきて、帰る時などは本当に「バイバイ、また来てね」という感じで慕っていて、大きいお兄さん・お姉さんに遊んでもらったことがすごく嬉しい感じで、逆に中学生も本当にやさしい表情をしていたというか、担当教科の先生もおっしゃっていたのですけれども、みんな学校では普段見られない表情をしているという感じで、異年齢、学年の異なる子どもたち同士がかかわるというのはすごく大事だなと思いました。</p> <p>わらべ保育園には0歳児～5歳児までいるので、0歳児の担当になった中学生は女子だけだったのですけれど、男の子も0歳児の担当にいてくれたらいいのになと思ったのと、赤ちゃんというのは起きている間は泣いているのを一生懸命抱っこして、中学生の女の子がお相手しているのを見てると、すごくほほえましかったのと、中学生と保育園児だと年が開きすぎて、それはそれでいいと思うのですけれども、見ていて思ったのは、小学校の高学年5・6年生と中学生の交流がもっとあればいいのになと。中学校へ上がるのがスムーズに移行していけるように、今だと入学説明会の時にちょっと触れ合うような感じなんですかね。できるのであれば、年に数回くらい、何らかの小学5・6年生と中学生の交流ができるといいのになとその時ふと思ったので、言わせていただきました。</p>
<p>今宿 教育長</p>	<p>最近は異年齢の子が少なくなっていますので、意識してそういう場を持っていきたいなと思います。</p> <p>では、進めさせていただきます。</p> <p>~~~~~</p>

	日程5 今後の予定
今宿 教育長	日程5の今後の予定に入ります。学校教育課から順次説明をお願いします。
各課長	(各課から説明)
今宿 教育長	今後の予定の説明が終わりました。ご質問などございましたらお願いします。
高橋 委員	<p>連絡に入るかもわかりませんが、日野町教育委員会の後援メニューをいただいております。11月10日に日野中央公民館で、滋賀県発明協会、県が主催で子どもたちの「ものづくり体験教室」を行います。3ブースほどありますが、日野中央公民館で1時から行うということがございます。</p> <p>チラシを持ってくるのを忘れたのですけれども、もしお時間がございましたら、11月10日(日)1時から日野中央公民館で、綿向山の日と重なってしまいますが、時間がございましたら、お越しいただけたらありがたいと思います。</p>
今宿 教育長	<p>他によろしいでしょうか。</p> <p>これもちまして、10月定例会を終了いたします。</p>